

SEINAN Spirit



No.
222
西南学院大学
2022 Autumn

SEINAN Spirit

No. 222

2022 Autumn

2022年9月29日発行(季刊誌)

編集／西南学院 総合企画部 広報・校友課
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL: 092-823-3248

発行／西南学院大学

公式SNSをフォローして
西南学院大学の「今」を知ろう!

西南学院大学公式SNS

Facebook



Twitter



YouTube



Instagram



皆さんからの「いいね！」をお待ちしております！



西南学院Letter
にご登録ください！

メルマガ「西南学院Letter」は、
西南学院のNEWSやイベント情報などを
およそ月2回の頻度でお届けいたします。



ぜひご登録
ください！

新体育館・プール棟(仮称)建設へのご支援について(お願い)

本学は、老朽化した建物の建替えおよび機能向上を目的として、現在の大学西新グラウンド(西キャンパス)に新体育館・プール棟(仮称)を建設いたします(2023年6月竣工予定)。

『西南学院大学サポートーズ募金』のうち、新体育館・プール棟(仮称)建設支援を指定してご寄付いただいた場合、当該寄付を新体育館・プール棟(仮称)建設の原資とさせていただきます。個人5万円以上、団体10万円以上、法人50万円以上のご寄付をいただいた方は新体育館1階の銘板にご芳名を刻銘し、末永く顕彰いたします。

厳しい経済環境の折、大変恐縮ではございますが、皆さまからのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新体育館(仮称)外観



メインアリーナ



メイン・サブアリーナ
上部に自然換気窓を設け、アリーナ面の
重力差換気を図ることで、快適なスポーツ
環境を実現します。

※本バースはイメージであり、今後変更となる場合があります。

西南学院大学サポートーズ募金については、ホームページをご覧ください。

[<https://www.seinan-gakuin.jp/supporters/>] 西南学院大学 募金



【寄付に関するお問い合わせ先】 総合企画部 広報・校友課 | TEL: 092-823-3248 E-mail: koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学

inspiring you
心と知を紡ぎ、世界へ

国際交流50周年を迎え、本学の実り多い国際化の歴史をとても誇りに思います。国際性は西南の特色の一つとなりました。

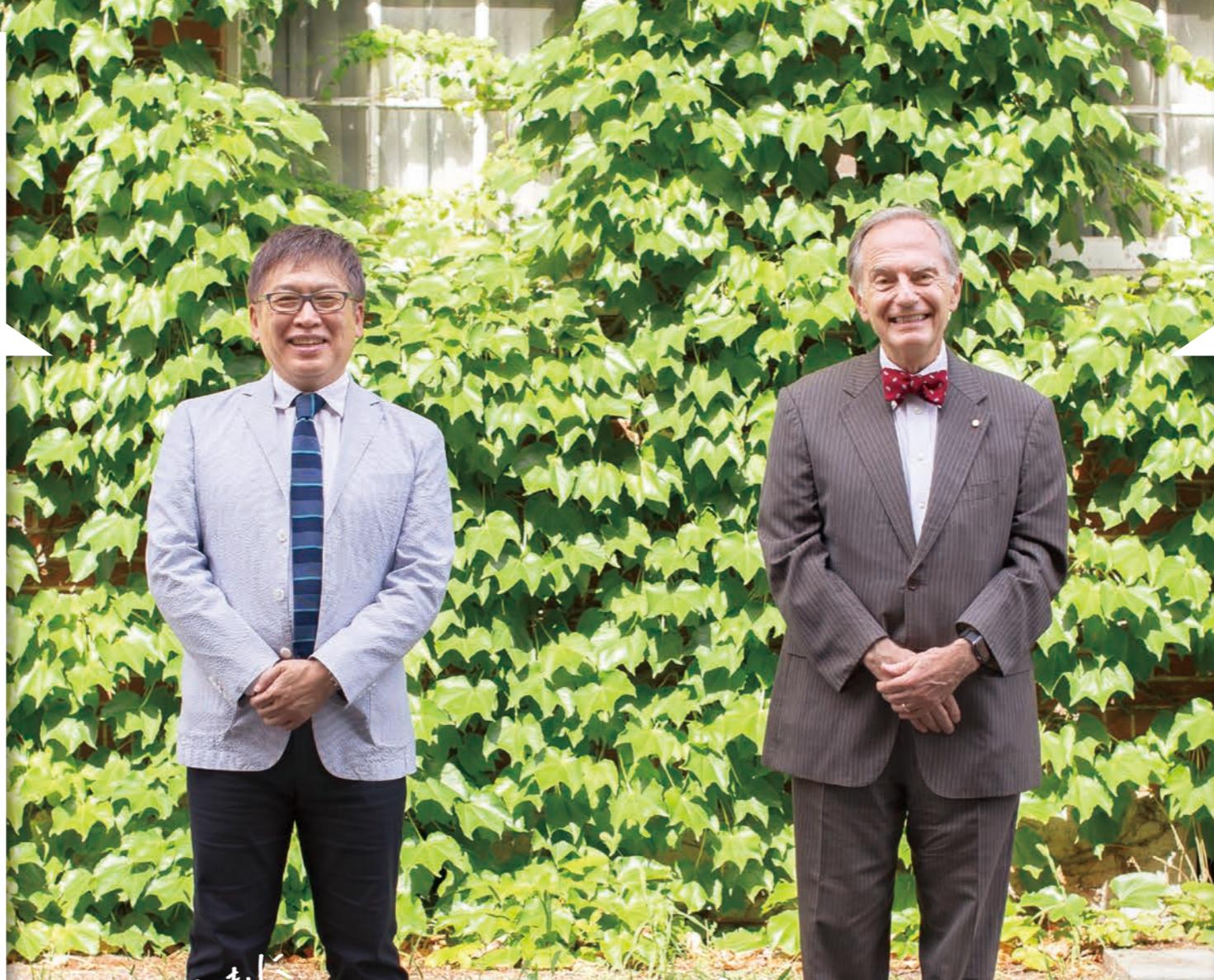
本学の「国際交流のこれから」を考える時、その模範となるような人物像（ロールモデル）として「中村哲」さん（西南学院中学校卒業・元ペシャワール会現地代表）を思い浮かべます。キリスト教教育を背景とした人間観、多様性の尊重や国際協力、世界平和を希求する姿勢が、本学の目指す国際化の方向性ではないでしょうか。具体的には地域に寄り添いつつ国際社会が抱える多様な課題に率先して取り組むこと、意見を積極的にぶつけ合い、相互の理解を深めながら、より良い関係を積極的に構築するコミュニケーション力を持つことです。そのために、留学生が「いる」という現状を超えて、留学生と「共に学ぶ」という学習環境を作っていくたいと思います。

また、国際化に関する多様な意見や熱い思いを共有し、対話を重ねていきながら、国際化の「西南モデル」を作っていく必要があります。従来の留学制度に加え、新しい目的別の海外研修や、協定校とICTを活用した交流などを通じて、一層、国際交流が活発になることを期待します。

今後も国際性が本学の第一の特徴として大きな柱になることは間違いないません。「国際交流のこれから」を考える時、最終的には、教職員や学生の意識変革が必要です。先輩たちの伝統をもとに、教職員、在学生、未来の西南大生と共に新たな西南の国際交流と国際化を実践していきましょう。

国際センター 所長 清宮 徹

*Co-construction of world peace
and international Collaboration
on various global issues are the ultimate goals
for the Seinan model of internationalization
in the next stage.
Tomoyuki Jomiyama*



国際交流50年の歴史とともに
世界で学ぶ。
世界を学ぶ。

本学は全国の他大学に先駆けて海外の大学との交換留学を始め、数多くの学生を海外へ派遣し、同時に多くの外国人留学生を受け入れてきました。昨年、国際交流の節目となる50周年を迎えた。我々には、今後の国際交流をどのように発展させていくかについて考える機会が与えられています。今後も、伝統ある交換留学を継続しながら、「西南学院ビジョン2016-2025」にも掲げている「キャンパスの国際化」を進めています。例えば、学部留学生の受け入れ拡充や、教員の国際共同教育・研究活動の推進を通じて、本学学生と留学生が共に学べる環境を整備するのも一つの方策だと考えています。また、本学は「福岡から全国へ、世界へ、はばたく力を。」というスローガンを掲げています。このスローガンには、学生が在学中に必要な様々な力を身に付けること。そして卒業後は、その「力」をもって福岡の地から世界に羽ばたいてほしいという、我々の願いが込められています。

国際交流100周年に向かって、これらの「力」を身に付けた学生を一人でも多く輩出し、本学がさらなる国際的な大学となるよう今後も国際化の推進に尽力してまいります。

学長 G.W. バークレー

*Let's continue to pursue
the university's internationalization
for students to become leaders
on the world's stage
and to enrich their personal
and professional lives.*

G.W. Buckley

1971年に開始した交換留学制度をはじめ、本学ではこれまで多くの学生に世界で学ぶ機会を提供してきました。国際交流50年という歴史から新たな一歩を踏み出す今年、これまでの歩みやこれからの国際交流が目指すもの、そして、世界を目指す学生に向けたメッセージを届けます。

CONTENTS

02 [特集]

国際交流50年の歴史とともに

世界で学ぶ。世界を学ぶ。

11 西南学院大生、熱中の日々
文学部英文学科 4年 岡本 彩花さん

20 こんにちは先輩
翻訳家
三角 和代さん

13 MY ANSWER
経済学部経済学科 加藤 浩 准教授
×
神学部神学科 金丸 英子 教授

21 Report
Culture of Integrity
(国際的な実務家養成プログラム)
-国際社会とつながるキャリアを目指して-

15 就活サポリ
進路・就職活動に向けた
「1・2年生の心構え」

22 NEWS & TOPICS
教授のヨノカ考
商学部経営学科
工藤 秀雄 教授

17 決断ターニングポイント!

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社
マーケティング本部 九州電材営業部
北九州電材営業所
二階堂 克さん

24 INFORMATION
西南学院の財政について

19 知の原点

法学部法律学科

田中 憲一 准教授

「留学」には、挑戦した人にしか得ることができない学びがあります。
世界で学び、世界を学んだ経験が、今にどのように生かされているのか。
卒業生、在学生、そして西南学院大学で学んだ修了生を紹介します。

Story
3

SGU taught me the real Japanese spirit.

When I first arrived in Japan I could not speak, read, nor write any Japanese. All I could say was only こんにちは and ありがとう, nothing more! Discovering and learning the language made me love 書道, which I still practice now.

While I was at SGU as an exchange student, I learned how to coexist with people from different horizons. I also learned from the locals what I felt, looked like and sounded different, and it was a unique experience for me. Such a big culture gap has forced me to be more flexible and attentive to details. This is especially

true in a culture like Japanese culture, where what you don't say can be more important than what you say.

As my 5 month study abroad program made a big impact on me, I came back to SGU again and stayed for another three years as a PhD student. This experience has made me more calm and given me a better understanding of how the world works.

I would like to encourage Japanese students to go abroad and go out of their comfort zone. I also advise international students to enjoy their time in Fukuoka as it is an amazing city.

私にとって留学とは /

Discovery and understanding!



France

[KEDGE
Business School]

>>> SEINAN



修了生

Puel Flavien

フランス・KEDGEビジネススクール出身。2012年8月～2012年12月、西南学院大学に留学。現在、フランス・パリで研究者として活動。

Now



Story
4

Thousands of ways to communicate, I learned that here.



Netherlands

[Hogeschool
van Amsterdam]

>>> SEINAN



Now

修了生

Ditha Apsari

オランダ・アムステルダム応用科学大学出身。2014年8月～2014年12月、西南学院大学に留学。現在、物流関係の企業でeコマースの仕事に携わる。

My time at SGU is very dear to me and really shaped me into the person I am today. Although it was the first time for me to be abroad on my own, thanks to my fellow exchange students, there was no moment I felt alone.

During my exchange, I learned that there is so much to gain from someone who has gone through different life experiences from mine. Despite differences, I also learned that people have so much in common.

In my current function, I've handled

projects with customers from different corners of the world. From my experiences at SGU, I am able to adapt to the different styles of communication and collaborate effectively.

My message to SGU students is don't be shy to visit the I-House and get acquainted with the exchange students. We are happy to meet new people and love to see Japan through your eyes. Or if you are thinking about studying abroad yourself; Go for it!

私にとって留学とは /

There is always something to learn from one another.

留学経験者
Interview

人生を変えた

私の留学 Story

Story
1

留学で得た主張する力、広い視野が異文化のアフリカで働く自信に。



カナダ

[マクマスター大学]



卒業生

認定NPO法人 道普請人
いわ むら ゆ か
岩村 由香さん

2008年文学部外国語学科英語専攻卒業。佐賀県立鹿島高等学校出身。現在、認定NPO法人道普請人のアフリカ統括マネージャーとしてウガンダに在住。



Story
2

日本の伝統文化を世界へ発信。
留学で見つけた将来の夢。



デンマーク

[コペンハーゲン大学]



在学生

国際文化学部
国際文化学科 4年
清原 真里さん
(西南学院高等学校出身)



私にとって留学とは /

達成感、成長が詰まった人生の宝物

大学1年次、イギリスに短期留学した際、イギリスの歴史や伝統、価値観に触れ、「様々なバックグラウンドを持つ人ともっと交流し、国際的な視野を広げたい」と思い、長期留学を決意しました。

留学先のコペンハーゲン大学では人文科学部に在籍。様々な授業を受ける中、特に印象的だったのは、プレゼンテーションスキルを学ぶ授業です。自分の語学力や発信力がどこまで通用するのか。これ以上ないチャンスと考え、積極的に取り組みました。その努力が認められ、留学先大学主催のシンポジウムに留学生代表のスピーカーとして選出されました。授業で培ったプレゼン

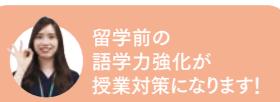
テーションスキルを発揮し、チャレンジ精神は道を開く鍵であることを実感しました。

また、コペンハーゲンの人や街、文化に触れたことで見えた日本の良さもありました。それは、日本の伝統文化の美しさです。将来は、日本と世界の架け橋となり、日本の伝統文化を発信したいと考えています。

学生の皆さんの中には、自分の語学力に自信が持てず、留学の夢を諦める人もいるかと思います。しかし、そうした不安や恐れは自分が生み出したものであり、実際の留学生活は不安を払拭するほどの達成感や喜びにあふれています。ぜひ、一步踏み出してください。人生の宝となる出会いと学びが待っています！

4 現地の授業にはついていけた?

会話についていくため、
YouTubeで特訓!



留学当初、会話のスピードについていけなかったため、授業以外の時間はYouTubeのフランス語のチャンネルで耳を慣らすように努力しました。



毎日の予習復習で必死に食らいつきました!

全く知識のない教育系の科目を受講したため、初日から授業について行けず大混乱!それでも諦めたくなかったので、現地の先生に補足の資料を提供してもらうなどのサポートを受け、毎日の予習復習を頑張りました。その結果、「最高評価」の成績を収めることができました!



5 海外で学ぶ魅力は何?

自分の固定概念から抜け出せる!



日本や自分の当たり前が海外では当たり前ではないので、いかに自分が小さな世界で物事を考えていたかを知り、自分の固定概念から抜け出して考えることの大切さを学びました。

授業を通して、異文化を肌で感じられる!



文化の違い、価値観の違いを感じながら授業を受けられることです。また、お互いの違いを知り、認め合うことで、その人自身の個性やアイデンティティーを大切にしたいと思えるようになりました。

否が応でも必死になれる!



周りの環境に順応するため、一生懸命に勉強して、自分で考えて動くことです。自分しか頼る人がいない厳しい環境だからこそ、必死に頑張ることができました。

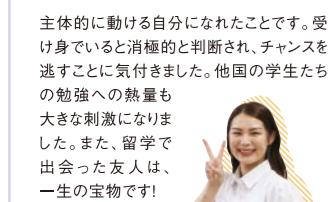
日本の枠を超えた考え方方が身に付く!



日本語が全く通じない環境、今まで触れたことのない文化圏で生活することで語学力はもちろん、日本という国の文化に縛られない考え方方が身に付くことです。人間的にも成長できだと実感しています。

6 留学で得たこと、成長できたことは?

主体性が身に付きました



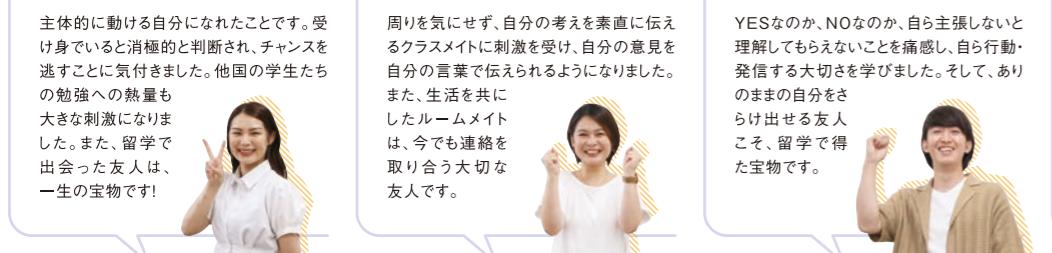
主体的に動ける自分になれたことです。受け身でいると消極的と判断され、チャンスを逃すことなく気付きました。他の学生たちの勉強への熱量も大きくなりました。また、留学で出会った友人は、一生の宝物です!

自分の言葉で伝える姿勢



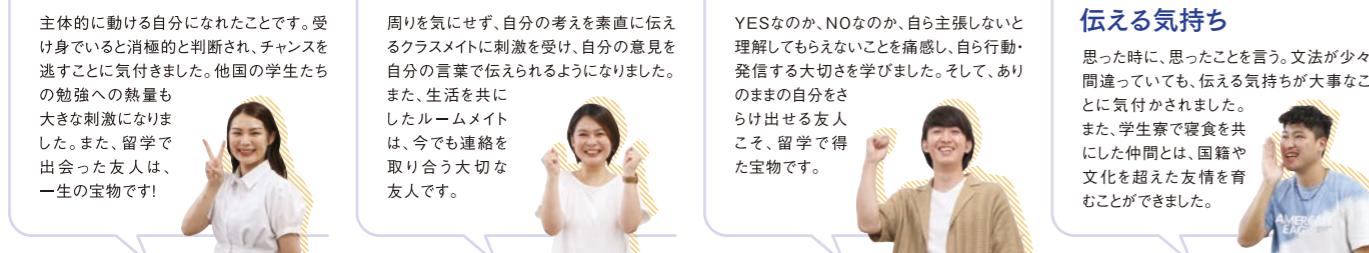
周りを気にせず、自分の考えを素直に伝えられるクラスメイトに刺激を受け、自分の意見を自分の言葉で伝えられるようになりました。また、生活を共にしたルームメイトは、今でも連絡を取り合おう大切な友人です。

自ら主張する「強さ」



YESなのか、NOなのか、自ら主張しないと理解してもらえないことを痛感し、自ら行動・発信する大切さを学びました。そして、ありのままの自分をさらけ出せる友人こそ、留学で得た宝物です。

大切なのは、文法よりも伝える気持ち



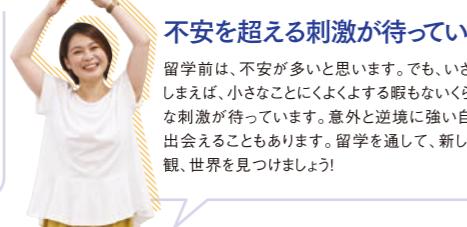
思った時に、思ったことを言う。文法が少々間違っていても、伝える気持ちが大事なことに気付かされました。また、学生寮で寝食を共にした仲間とは、国籍や文化を超えた友情を育むことができました。

〈 留学に悩んでいる学生へメッセージを! 〉



カルチャーショックを楽しもう!

留学では、「こうすべき」「これが普通」と思っていたことがごくごくあります。そのカルチャーショックを前向きに吸収できるのは、社会に揉まれる前の大学生の時だと思います。ぜひ留学あなたの世界を広げてください!



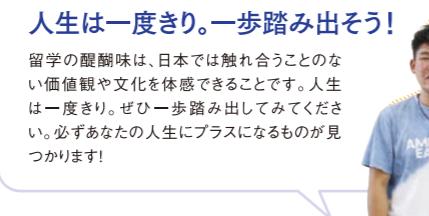
不安を超える刺激が待っています!

留学前は、不安が多いと思います。でも、いざ行ってしまえば、小さなことにくよくよする暇もないくらい大きな刺激が待っています。意外と逆境に強い自分にも出会えることもあります。留学を通して、新しい価値観、世界を見つけましょう!

挑戦すれば、必ず得るものがある!



留学は、現地でしか経験できないことが山のようにあります。少々語学力に不安があっても大丈夫! 悩むよりもチャレンジ! 留学は、あなたが想像する以上のプラスの経験が待っています!



人生は一度きり。一歩踏み出そう!

留学の醍醐味は、日本では触れ合うことのない価値観や文化を体感できることです。人生は一度きり。ぜひ一歩踏み出してみてください。必ずあなたの人生にプラスになるものが見つかります!

留学の気になるアレコレに答えます!

「留学に向けてどんな準備が必要?」「留学したいけど、現地での生活が不安…」など、海外派遣留学に関する疑問・質問に留学経験者と国際センター職員がお答えします!

\ 留学の疑問・質問に私たちが答えます! /

[留学先] アメリカ
セント・クラウド州立大学



よしひけ しゅん
吉武 駿さん
人間科学部心理学科 4年
(東筑紫学園高等学校出身)

[留学先] チェコ
マサリク大学



こにし なつき
小西 菜月さん
文学部外国語学科英語専攻 4年
(新宮高等学校出身)

[留学先] フランス
トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校



ふなづ ゆうすけ
船津 裕介さん
文学部外國語学科フランス語専攻 4年
(城南高等学校出身)

[留学先] 韓国
釜慶大学校



せきや りんか
関屋 輪香さん
国際文化学部国際文化学科 4年
(朝倉高等学校出身)

国際センター



ドナキー 茉莉香さん
国際センター職員

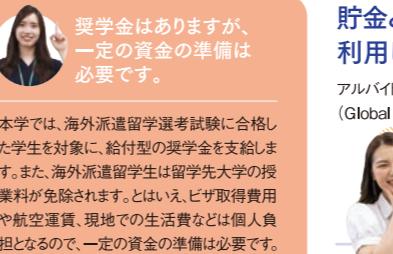
2 留学資金はどのように準備した?

留学を目標に1年次からアルバイト代を貯金



1年次からアルバイト代を留学資金としてコツコツ貯金。3年間で貯めた約80万円と大学の給付型奨学金を留学費用に充てました。現地では、できるだけ自炊をして、食費を抑えるように頑張りました。

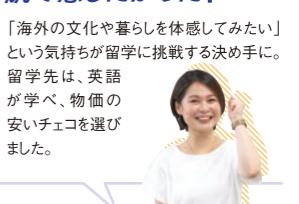
貯金と韓国の奨学金を利用しました



本学では、海外派遣留学選考試験に合格した学生を対象に、給付型の奨学金を支給します。また、海外派遣留学生は留学先大学の授業料が免除されます。とはいっても、ビザ取得費用や航空運賃、現地での生活費などは個人負担となるので、一定の資金の準備は必要です。

1 留学に挑戦したきっかけは?

海外の文化や暮らしを肌で感じたかった!



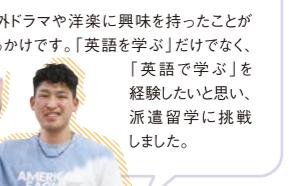
「海外の文化や暮らしを体感してみたい」という気持ちが留学に挑戦する決め手に。留学先は、英語が学べ、物価の安いチエコを選びました。

海外で語学を学びたい!
その思いから留学に挑戦

幼い頃から海外に強い関心があり、語学を海外で学びたいという思いから、留学を決意。英語と独学で勉強していた韓国語を学ぶ韓国の大學生に留学することを決めました。



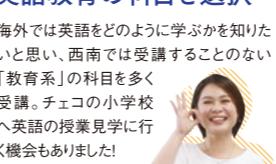
「英語で学ぶ」を経験するため



海外ドラマや洋楽に興味を持ったことがきっかけです。「英語で学ぶ」だけでなく、「英語で学ぶ」を経験したいと思い、派遣留学に挑戦しました。

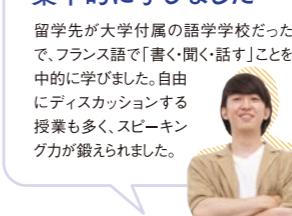
3 現地でどんな授業を受講した?

興味があった
英語教育の科目を選択



海外では英語をどのように学ぶかを知りたいと思い、西南では受講することのない「教育系」の科目を多く受講。チエコの小学校へ英語の授業見学に行く機会もありました!

フランス語を
集中的に学びました



留学先が大学付属の語学学校だったので、フランス語で「書く・聞く・話す」ことを集中的に学びました。自由にディスカッションする授業も多く、スピーキング力が鍛えられました。

普段、受けられない講義を積極的に受講しました!



コミュニケーション学や地理学など、学部の専門分野以外の講義を積極的に受講しました。





海外留学だけじゃない! キャンパスで国際交流しよう!

2022年
留学生受け入れ
再開!

1 福岡に住み、世界とつながる インターナショナルハウス(国際寮)

西南学院大学の3つの学生寮は、日本人と留学生が共に暮らす「混住型国際教育寮」です。日本人学生と様々な国籍・文化的背景を持つ留学生との共同生活は、まさに「留学」そのものです。また、寮の運営はリーダー的役割の「RA(レジデントアシスタント)」の学生(2年生以上)を中心に寮生が行っています。国籍・文化の枠を超えて寮生同士で切磋琢磨することで、語学力はもちろん主体性や多様な価値観を身に付けることができます。

〈国際寮の特徴〉

- 福岡での留学体験
- 寮の運営を通して成長できる!
- 交流イベントも盛りだくさん!



共同のキッチンに集まって、お互いの国の料理を作る異文化交流も

多様な価値観に
触れながら、
RAとして成長したい。



まつもと しおん
松元 慎緒さん
文学部外国語学科英語専攻 4年
(樟南高等学校出身)

1年次から培ってきた英語力を生かし、日本人学生と留学生の架け橋になりたいと考え、国際寮のRAを志望しました。今後はRA主催のイベント担当として、多様な価値観が集まる国際寮の特徴を生かし、日本人学生も留学生も楽しめる異文化体験の企画を提供したいと考えています。また、国際寮での生活やRAの経験を通して統率力や協調性、国際感覚を養うことを目標に留学生との共同生活を楽しみたいと思います。

インターナショナルハウス
国際寮のHPはこちら!



2 留学生と本学学生の相互交流を促進 「SEINAN Global Society(SGS)」

SEINAN Global Society(SGS)は、国際交流イベントを企画・実施する学生団体です。2022年も本学学生と留学生の相互交流を図る様々なイベントを開催しています。アットホームな雰囲気で国際交流したい人におすすめです。イベントの詳細は、随時SAINSポータルでお知らせしています。

〈主なイベント〉

- International Coffee Hour
- Welcome Party & Farewell Party

SGSの
Instagramはこちら!



3 国際交流の拠点 「GLOBAL STUDENT LOUNGE(GSL)」

GLOBAL STUDENT LOUNGE(GSL)は、3号館1階にある国際交流ラウンジです。国際センターやSGSが主催する留学に関するイベントや国際交流イベントを定期的に開催しています。

〈主なイベント〉

- 国際センター、SGS主催の国際交流イベント
(帰国留学生による留学フェア、Language Exchangeなど)
- 国際センターによる留学説明会・相談会

GSLが分かる
YouTubeはこちら!



未知の世界へ
飛び込もう!

海外派遣留学生の募集を開始します!!

2022年11月28日より、2023-2024年度海外派遣留学生選考(B日程)の応募を受付けます。

皆さんからの応募をお待ちしています!!

海外派遣留学生制度とは?

本学の国際交流計画に基づく海外派遣留学生選考試験に合格して、協定校に交換留学生として半年間または1年間派遣される制度です。この制度を利用して留学すると、本学における履修や単位換算等、教務上・学籍上の配慮があり、4年間で卒業することも可能です。また、留学先大学の授業料が免除される(本学の学費は納入)ほか、奨学金も支給されます。



授業料免除 奨学金あり

派遣先大学の授業料は
免除されます(本学の学
費を納入)。また、奨学
金の受給も可能です。



4年で卒業

留学期間=在学として
取り扱い、延期すること
なく4年間で卒業する
ことも可能です。



留学期間を 選択可能

留学期間を「半年間」
か「1年間」で選択可能
です。



取得単位の 換算可能

留学先で取得した単
位を本学の単位に換
算できます。

〈選考スケジュール〉

B日程 [英語派遣(A日程以外)、フランス語派遣、イタリア語派遣、スペイン語派遣、中国語派遣]

※A日程[ドイツ語派遣、韓国語派遣、英語派遣(ドイツ、韓国、オーストラリア、南アフリカ共和国、チリ、ペルー、タイ(マハサラカム大学のみ1年間))]は募集受付を終了しました。

募集期間

2022年11月28日(月)～12月16日(金)

学内選考合格発表

2023年1月31日(火)

派遣期間

2023年8月～2024年6月(1年間)
2023年8月～2024年2月(半年間)

応募資格

- 学部生、大学院生であること
- 在学成績のGPAが2.2以上の者
※派遣先大学によっては、GPA2.2以上を要件とする大学があります。
- 各派遣先大学の語学力要件を満たしていること

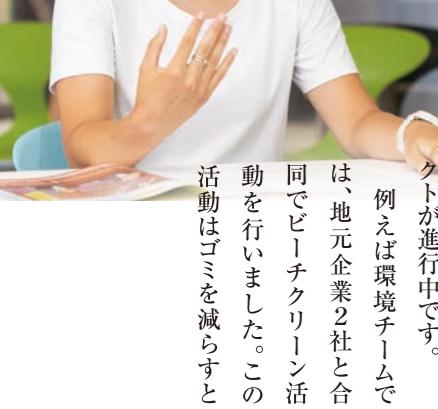
お問い合わせ

国際センター [3号館1F]

TEL 092-823-3346 E-mail:intleduc@seinan-gu.ac.jp

国際センターの
Instagramはこちら!





団体始動のきっかけは、
天候被害に遭った農作物。

#14

西南学院大生

EDO-Style
(エドスタイル)

様々な社会問題の解決に取り組むことを活動のミッションとする学生団体「EDO-Style」のファウンダー兼代表。団体名は、江戸時代のような循環型社会を活動モデルとしていることから命名。

社会問題解決を通して 社会にインパクトを!

合いました。その際、継続した活動にするために仲間を集めた方が良いとアドバイスを受け、メンバーを募集。そこで出会ったのが現在の4年生メンバーです。その後、諸事情によりコンボストの企画は白紙になってしまい、悔しい思いをしましたが、この経験がなければ創立メンバーにも出会えなかつたため、今では貴重な経験だつたと感じています。

活動の仕組みを構築し、段階的に学びの深度を高める。

今春には新しいメンバーが加わり、総勢15名に。それに伴い、創立メンバーと共に問題解決までの活動の仕組みづくりを行いました。「①問題を見つけ、原因分析するための仮説を立てる」「②仮説検証を通して問題探究を行う」「③問題解決に向けてソーシャルインパクトを生み出す」という3つのフェーズを設け、一年を通して活動。現在は「環境」「子ども」「ファンション」「動物」の4つのプロジェクトが進行中です。

例えれば環境チームでは、地元企業2社と合同でビーチクリーン活動を行いました。この活動はゴミを減らすと

私はもともとフードロスやソーシャルビジネスに関心がありました。2年次の冬、農作物が大雪被害を受けて対処に困っている方に出会ったことが現在の活動の原点です。その時に出会った方の畑で大規模なコンボスト（生ゴミを堆肥に変えること）が行われおり、その堆肥で育てられた野菜のおいしさに感動！環境にも人もやさしいこの取り組みを大学でも広めたいと、まずは大学に掛け行っています。

私たち「EDO-Style」は、社会問題の解決に貢献することを通じて、社会に影響を与えることを目的としています。「社会問題」と言うと難しく捉えられがちですが、そのどれもが私たちの暮らしに身近なことであり、いかは誰かが解決すべき問題です。現在、この思いに賛同してくれたメンバーたちと共に、問題解決に向けた様々な活動を行っています。

文学部英文学科 4年
おか もと あやか
岡本 彩花さん
(修猷館高等学校出身)



いう応急処置ではなく、海洋汚染の現実を知り、海洋保全の大切さを学ぶことが狙いで。そのため、ビーチクリーンの活動前後にもフェーズ①として、ウェブや書籍等で海洋汚染に関する情報を収集し、自分なりに問題への仮説を立て、有識者への取材を実施。このように問題解決のための糸口を見出していくます。

育てた組織をどう引き継ぐか。組織継承も重大なミッション。

私の思いに端を発した「EDO-Style」は、今では組織として機能始めています。団体を創設して2年弱で活動内容の幅が広がりました。また、私自身、企画に取り掛かるスピードが上がり、作業容量も増えたと実感しています。さらには、全体を見通す力、柔軟に対応する力が、意外にも自分に備わっていたことを仲間の存在により気付かされました。

今後の課題は、組織の継続性を確保することです。1人に役割が集中していると、その人物が不在になってしまった途端に組織が機能しなくなってしまう。このような事態は避けなければなりません。次のリーダーへスムーズにバトンを渡せるように議事録を



(上)ソーシャルビジネスに特化した株式会社ボーダレス・ジャパンと講演会を実施。(下)地元企業とのビーチクリーン活動。

これからトライしたいこと



卒業後の事業立ち上げに向か
今はコツコツと種を蒔く。

将来、起業してまちづくりの事業を立ち上げるために、勉強を兼ねて様々な場所に出向いています。高齢者サロンや子ども食堂、発達障害のある子どもが通う学校にお邪魔するほか、実際にまちづくりに従事されている方にお話を聞くなど、残りの学生生活はEDO-Styleの活動と並行し、事業構想にも力を注いでいくつもりです。

西南学院大学のここがいい！

学生の活動を全力で応援してくれる環境です。私たちの思いや活動のために総務課をはじめ、ボランティアセンター、教育推進課、学生課の方々には、惜しみないバックアップをいただきました。学生が勇気を持って声を上げた時、否定せずに応援してくれる。みんなの応援は、私たちが頑張れる理由もあります！

西南学院大生、熱中の日々

学業に加え、スポーツやボランティアなど、様々な活動に熱心に打ち込む、学生の日常に密着。輝く姿の裏側にある努力と苦悩、そして熱い思いを、今ここに。

今、必要な情報をぎゅっと凝縮! 就活サプリ

本番直前! 今すぐ役立つ就活イベント情報

3年生
必見!

◆就職説明会(第2回・第3回)

就活生全員参加必須の基本となる説明会です。その時期に必要な最新情報を厳選してお届けしますので、必ずご参加ください。

◆対策講座(ES・面接等)

後期から、エントリーシート、面接、グループディスカッションと、数多くの対策講座を実施します。ご自身の進捗に合わせて積極的に参加し、対策を進めてください。

進路、就職活動のことなら、

就職課へ!!

就職課公式
LINEアカウント
友達募集中!!



西南学院大学
就職課
@sw-syusyoku

問い合わせ先

西南学院大学 学生支援部 就職課
TEL:092-823-3321
(就職課直通)
E-mail:syusyoku@seinan-gu.ac.jp

「就職活動は具体的に何を、どう進めればいいの?」という声にお応えする「就活サプリ」。

就活に向けて今、必要な情報をぎゅっと凝縮し、皆さんをサポートします。

1・2年生
必見!

進路・就職活動に向けた 「1・2年生の心構え」

3年生の就職活動が本格化し始めるこの季節、

1・2年生も少しずつ進路選択・就職活動に向けて準備を始めませんか?
自分の将来像をイメージし、悔いのない選択につなげていきましょう。

就職活動対策期間



IS = インターンシップ

※スケジュールは目安です。

4年間の流れを知ろう!

キャリア形成・ 就職活動 スケジュール

キャリア形成

大学生活を充実させ、
就活基礎知識を習得する

キャリア形成

大学生活を充実させ、
仕事・キャリア観を醸成する



IS = インターンシップ

※スケジュールは目安です。

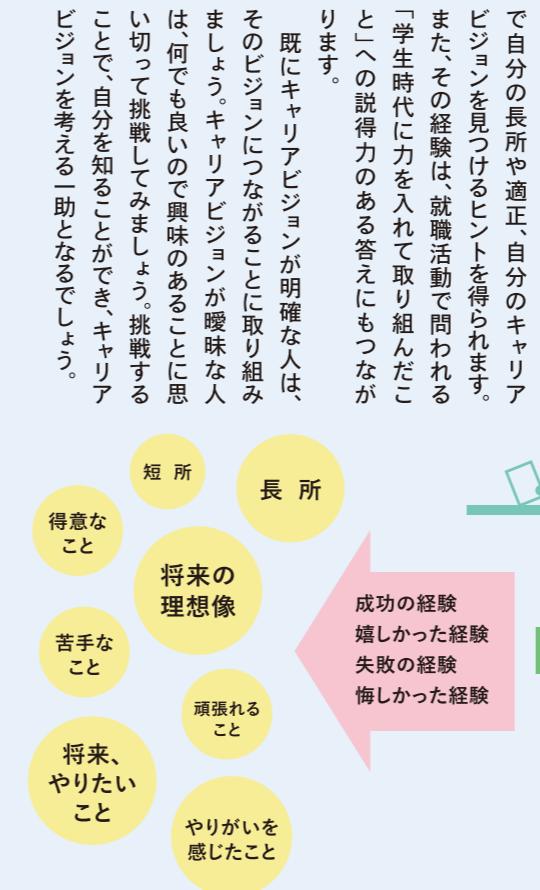
心構え1~3を踏まえて、チャレンジシートに記入してみよう! /

1 学生時代に 頑張ろう。 挑戦しようと 思っていることは?	●個人で 例: 語学力の向上。 ●集団・組織で 例: アルバイト。
2 その目標は?	●個人で 例: TOEIC 700点!! ●集団・組織で 例: スタッフのみんながスムーズに働けるように引っ張る!
3 目標のために、 どう努力する?	●個人で 例: 毎日1時間勉強する。 ●集団・組織で 例: スタッフに自分から声をかける。



1・2年生の
心構え
3
学生生活を有意義に過ごすために、
「目標」を持つ。

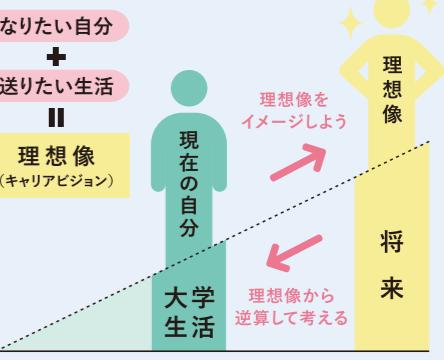
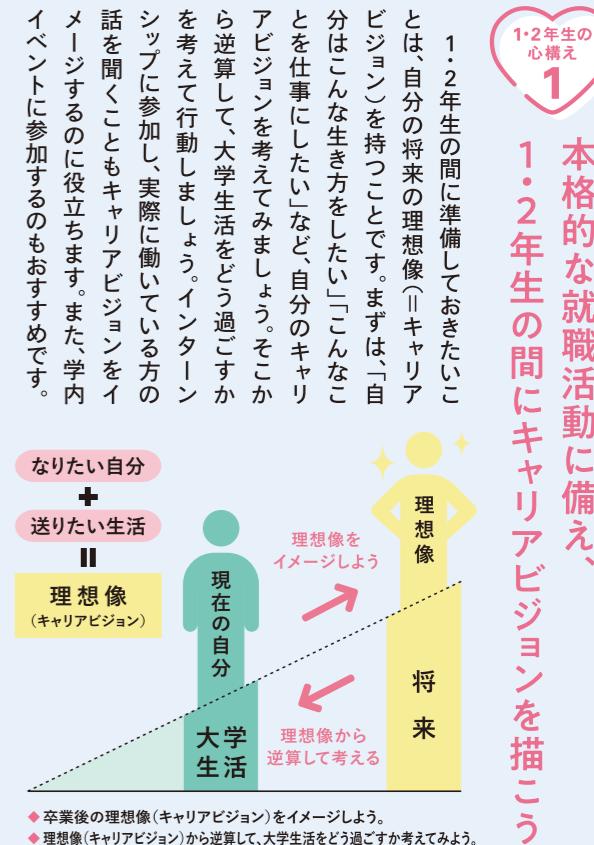
何かにチャレンジすることを決めたら、「目標」を持って取り組みましょう。目標を持つことで、挑戦の成果や成長が大きく実感できるはずです。



成功の経験
嬉しかった経験
失敗の経験
悔しかった経験

1・2年生の
心構え
2

気になることにチャレンジする中で
自分を知り、将来のビジョンを探ろう。



1・2年生の間にキャリアビジョンを描こう。

決
My
Turning
Point

断

ターニングポイント！

第13回

二
階
堂
克
さん

パナソニック株式会社エレクトリックワークス社
マーケティング本部 九州電材営業部
北九州電材営業所

全国、世界を股にかける 先輩社員の姿に憧れて入社

空 間を照らす電気設備は、私たちのくらしの基盤です。現在、私が所属する部署では、主に住宅やビル、公共施設などに必要な照明器具やLED、コンセントといった電設資材を、建設業界へ提案営業しています。駅のホームを照らす照明や、スポーツ観戦で熱狂するスタジアムの大型照明も、実は私たちの専門分野。知らないうちに皆さんも、弊社の電気設備を目にしているかもしれません。

弊社は海外にも多くの営業拠点があります。海外勤務を通じて世界に羽ばたけるチャンスがあり、世界を舞台に活躍する先輩社員の姿に惹かれて入社を決意しました。しかし、実は就職活動を始めるまでは、地元福岡の企業が第一志望。その考えは、「地元に恩返ししたい」という想いからでした。学生時代に所属していた準硬式野球部では、日々の練習はもとより、公式戦や大会の運営も学生主体で行っていました。そこから学んだことは、あたり前のように試合ができるだけではなく、協賛いただく地元企業の支えがあったからということです。そのため、当初は地元企業への就職を考えましたが、就職活動を通して働くことに対する考え方少しずつ変化。全国、世界で活躍できる環境で挑戦したいという思いが芽生えてきました。そんな時、挑戦することへの不安を部活動の仲間に話すと、「二階堂はどんな状況でも諦めない強さがある。自信を持て!」とうれしい言葉をもらいました。会社の拠点が福岡ではなくとも、別の形で恩返しはできる。そう思い直し、パナソニックへの入社を決意しました。

苦節3年。諦めなかったからこそ分かった 仕事のやりがい

入 社1年目より、うれしいことに地元福岡の営業所に配属。しかし、仕事に慣れるまでの3年間は険しい道のりでした。訪問先で商談をする際も、膨大な数の自社商材、そして電気設備全般に関する知識が足りず、お客様の期待に応えることができない日々…。会社に戻ってからも、業務の進め方や提案内容を模索し、苦悩する毎日でした。しかし、部活動の仲間からもらった言葉を思い出し、諦めずに努力を重ねました。入社して4年目となった現在、少しずつですが、「また二階堂くんと仕事をしたい」と得意先の方が言ってくださるまでに。一つの施設を得意先の方々とつくり上げた時の達成感。その施設を利用するお客様からのうれしい声。そのどれもが明日への糧になっています。

私が働く上で大切にしていることは、お客様の課題に誠実かつ真摯に向き合うことです。不誠実な対応は会社の信頼をも落としかねません。今後も誠実さを武器に、日本、そして世界に対して弊社の商材を提案し、快適な空間を提供していきます。



商談の際は担当する電設資材のほか、エアコンや空気清浄機といった家電製品の知識も必要です

Panasonic

パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社



くらしを支える電気設備を通して

空間、そして未来を照らしていく。



profile

2019年 法学部法律学科卒業
福岡大学附属大濠高等学校出身。大学時代は準硬式野球部に所属。卒業後はパナソニック株式会社に入社し、電設資材を主に扱う部署に配属。自社の商材を通して、より快適なくらしと空間の提案を行う。

決断



知の原点

教授が日々研究している専門分野との出会いは何か。研究の原点を探り、教授の学生時代の思い出とともに研究への思いを紹介します。

vol.14

法学部法律学科

たなか しんいち
田中 慎一 准教授

九州大学大学院法学研究科博士後期課程
単位取得退学。研究分野は会社法。

研究の原点

ゼミを通して、
1つの学問を追究する
面白さを知り、
研究者の道へ。



会社における取締役と株主の適切な力関係とは。

現在の研究

在、「会社法」について研究しています。会社法は、会社の経営や取締役の監視・監督に関する権限の分配、出資や社債という会社特有の資金調達方法、他の会社との合併に関するM&Aの仕組みなど取り扱う内容は多岐に渡ります。その中で、私が着目しているのは、株式会社において経営者である「取締役」と出資者である「株主」の間にあらる権限の調整についてです。

そもそも株式会社には、「多くの株主を集めることで事業のリスクを分散できる」「株式を発行することで事業資金を集めることができる」という仕組みがあります。この仕組みのおかげで、株式会社はハイリスクな事業でも、社会的に求められる事業であれば、株主から資金を集めることができ、事業を継続することが可能となります。つまり、株式会社にとってもその役割の一部を担っています。

他方、株式会社の運営の中心は、取締役などの経営陣になります。そのため、経営に関する知識や経験などが豊富な取締役が力を発揮できる仕組みが重要です。それと同時に、取締役の不適切な行動を抑止する仕組みも必要であり、株主の存在は非常に重要であり、株主が株式会社に対して強い影響力を持つことを意味しています。

このことから分かるように、取締役と株主は互いに影響し合う力関係にあります。そして、そのバランスは時代によって変化してきました。経営者の力が強かつた戦後は、株主総会は形骸化され、株主の利益はあまり重視されませんでした。

正が一部で行われました。

このように取締役と株主の力関係の調整は、会社法に委ねられてきました。しかし、近年は選択肢が増え、「ソフトロー」と呼ばれる新たな仕組みが登場しています。ソフトローとは、民間で、自主的に定めたガイドラインのようなものですが、法的拘束力はありません。例えば、上場企業の行動規範を示した「コーポレートガバナンスコード」が挙げられます。これは、東京証券取引所と金融庁が中心に設定したもので、東証の上場規程を介して、経営者や株主の動きに影響を与えています。このように社会情勢の変化や制度が多様化している中、「取締役と株主がどのようなバランスで力を持つことが適切なのか」という視点を常に持ち、会社法を様々な面から探っています。

また、長年、会社法を研究する中で実感するのは、多角的に情報を得る力の重要性です。様々なニュースが飛び交うインターネットだけでなく、様々な資料から情報を集め、整理し、分析する。今、自らが学んでいる学問と向き合った中で、これらの作業に丁寧に取り組み、ぜひこの力を養ってください。

公私ともにゼミ一色だった
学生時代後半。ゼミの友人と
四国一周のツーリング。



生きる力になる。
多くの経験から、「好き」を見つけよう。

STORY

「このミステリーがすごい!」ランクイン作品をはじめ、話題の海外ミステリの翻訳版を数多く手掛ける翻訳家・三角和代さん。

三角さんが翻訳家を目指し始めたのは30歳の頃。家事や育児と両立しながら、独学で翻訳スキルを磨き、40歳の時、翻訳家デビューを果たしました。勉強すれば、必ず翻訳家になれるという確証もない中、10年間、勉強を続けることは並大抵のことではありません。ところが、その期間も「楽しかった」と語る三角さんに、学生時代のことや夢を実現する原動力について伺いました。

「このミステリーがすごい!」ランクイン作品をはじめ、話題の海外ミステリの翻訳版を

三角さんが翻訳家を目指し始めたのは30歳の頃。家事や育児と両立しながら、独学で翻訳スキルを磨き、40歳の時、翻訳家デビューを果たしました。勉強すれば、必ず翻訳家になれるという確証もない中、10年間、勉強を続けることは並大抵のことではありません。ところが、その期間も「楽しかった」と語る三角さんに、学生時代のことや夢を実現する原動力について伺いました。



interview with OB・OG

こんにちは 先輩。 #183

翻訳家

みすみ かずよ
三角 和代さん

1987年文学部外国語学科英語専攻卒業。朝倉高等学校出身。大学卒業後、旅行会社に勤務し、出産を機に退職。30歳の時、ミステリの翻訳家を目指して勉強をスタート。子育てをしながら地道にスキルを磨き、40歳で翻訳家デビュー。以来、国内外で話題の海外ミステリの翻訳を多数手掛ける。その他、映画台本や音楽作品も担当。

語学を通して 視野を広げた学生時代。

子どもの頃から読書好きで、お気に入りのジャンルは海外ミステリ。謎が解けた時の快感・現実とは異なる時代や場所に連れて行ってくれる感覚に引き込まれ、いつしか海外ミステリの翻訳家になりたいと思う。外國語学科英語専攻へ進学したのも、この夢に近づきたいという思いからでした。

そんな夢を抱いて過ごした大学時代、

30歳で翻訳家に挑戦、 10年かけて夢を実現。

私が翻訳家を目指そうと決めたのは、子育て真っただ中の30歳の時。夫が転勤族だったため、自宅でできる仕事を考え、中、思い浮かんだのが翻訳の仕事でした。「学生の時は翻訳家になる方法が分からず諦めてしまつたけれども、やつぱり大好きな海外ミステリを自分で翻訳してみたい」。その思いから夢に挑戦することを決意しました。

そこで、1年目は通信教育を受け、2年目からは独学に路線変更。既に和訳されている作品の原書を取り寄せ、自ら翻訳する勉強を開始しました。同時に、出版社が翻訳版を出版する際の検討材料となる原書のあらすじをまとめた「レジュメ」作成の練習もスタート。こうした勉強をコツコツ続けること7年。

ガイドブックや音楽・映画関連の翻訳、さらにレジュメ作成の仕事が来るようになり、成長とともに手応えを実感していました。

そして挑戦から10年目、「海外ミステリの翻訳家になる」という夢を40歳で現すことができました。今思えば10年勉強しても翻訳家になれるかどうか

努力し続けることができたのは、夫の支えに加えて、翻訳することが何よりも楽しかったからだと思います。

迷った時は、「つぶしが利く方」ではなく、「好きなこと、やりたいこと」を選ぶ。過去に経験したことでも、面白うだと思える「しなやかさ」があれば、人生を豊かにするチャンスが増えるはずです!

英語の勉強を頑張る一方、楽しかった思い出といえば、フランス語研究会で過ごした日々です。特に、年に一度のフランス語劇は、舞台に立った年もあれば、裏方に徹した年もあり、苦労も含めて全てが良い思い出です。

また、イギリスへの短期留学も忘れがない経験です。同年代の留学生たちが他国への政治について真剣に議論している姿に日本の学生との差を感じ、世界に向かって広い視野の重要性をこの時に学ぶことができました。

原文のニュアンスを最大限に引き出す

私の座右の銘

心の趣くままに。

迷った時は、「つぶしが利く方」ではなく、「好きなこと、やりたいこと」を選ぶ。過去に経験したことでも、面白うだと思える「しなやかさ」があれば、人生を豊かにするチャンスが増えるはずです!

NEWS & TOPICS



2019年末から世界的に蔓延するCOVİD-19やそれに伴う新型ワクチン、2022年2月からのロシアによるウクライナ侵攻、消費者物価指数の上昇と、学生の心の中に生じた変化を理解する必要があります。この不安な状況から、学生たちは「なぜなら、今、「なぜ英語を、なぜ統計学を、なぜ歴史を、なぜ自然科学までも学ぶ必要があるのか」という疑問を持っています。私は肌感覚でそう思います。一言で言えば、今、鋭い学生たちは、自らの命や健康を保持することと、科学や歴史、実証センスを身に付けることは、ほとんど同義だと感じているものと思われます。

ロストジェネレーションと言われる世代にあたる私は、少年期からあらゆるものを感じず、醒めた目で事実だけ見定めるのを感じます。

私は今、学生たちにこの感性を

学生、醒めた目、不確実な今と科学と実証のセンス

教授のヨノナ力考

社会で起こっているさまざまな事象をさまざまな視点で語ります。

社会科学部経営学科
くどうひでお
工藤秀雄 教授
神戸大学経営学研究科博士後期課程修了。博士(経営学)。東京理科大学経営学部講師、西南学院大学商学部准教授を経て現職。専門は経営戦略論、イノベーション・マネジメント論。

NEWS

「学生創発プロジェクト」最終審査会を開催しました

6月22日(水)、西南コミュニティーセンターにて、「学生創発プロジェクト」最終審査会を開催しました。

本プロジェクトは、学生の主体性や知的探究心に溢れた新しい発想に着目し、新たなアイデアを形にしたい学生への支援を目的として本学教育・研究推進機構が実施するもので、本プロジェクトに採択された学生団体の活動には、活動資金(上限10万円)が支給されます。

当日は、1次審査(書類審査)を通過した学生6団体がプレゼンテーションを行い、子どもの教育格差、フードロス、入国管理・難民問題など、様々な社会課題に対して各団体が取り組み内容を発表。学生たちは、課題・問題を解決するためのアイデアや想い、それを実現するための資金計画などについて熱弁しました。



学生創発プロジェクト最終審査会結果

1位 KARDIANOIA 模擬入管

2位 PEERS MEG

3位 Seinan VisMoot

応募団体
※発表順

● Seinan VisMoot

【取組内容】模擬国際商事仲裁大会(VisMoot)のウィーン大会・香港大会・日本大会の出場に向けて活動を行う。今年は日本大で優勝し、その後の海外での大会で予選ラウンドを通過することを目標とする。

● 子どもの居場所

【取組内容】子どもの教育格差や貧困といった問題を解決するための糸口とするため、近隣小学校の児童に対し、学習面と生活面から、子どもの居場所作りの支援を行う。

● KARDIANOIA 模擬入管

【取組内容】日本を取り巻く入国管理・難民問題について学習する。「国境の狭間に置かれた人々に寄り添う」ことを念頭に、入国管理・難民問題について学生が主体的に学び、そこで得た知識をもとに発表会・講演会、メディア発信、体験シミュレーションを考案・実施する。

● PEERS MEG

【取組内容】学生が中心となって「仲間による支え合いの活動」を実施する。今秋のサポート開始に向け、学生団体を設立した。主な活動として、パリアフリーマップの作成や障がいのある学生への授業内外でのサポートを行う。

● 生理の貧困

【取組内容】生理の貧困という課題に対し、問題を認知してもらうための取り組みを行う。大学内トイレでの生理用品を無償配布することで、データを取得し、生理の貧困問題周知のためのイベントを開催する。



「学生創発プロジェクト」の詳細については、こちら

Culture of Integrity (国際的な実務家養成プログラム)

—国際社会とつながるキャリアを目指して—

“Culture of Integrity”プログラムは、国際社会の最前線で活躍するゲストを招き、事前にテーマの背景や相手の置かれた立場を様々な角度から調査・理解した上で、英語による質問を準備してゲストと対話する試みです。法学部国際関係法学科の学生を主に対象とし、入学後の早い段階から国際社会とつながる実感を育てていくことを目的にしています。第2弾の今回は、ウクライナ・キーウ在住の防衛問題に詳しいOleksandr Karpenko氏をゲストスピーカーに迎え、同学科の学生と対話を行いました。開催されたのは2022年6月3日(金)、ロシアによるウクライナ侵攻開始から100日目の日です。戦場に置かれた人と直接コミュニケーションを図る経験を通じ、ニュースの断片としてではなく、当事者の観点に立って関心を持ち続けるきっかけにしたいと計画されました。

冒頭、Karpenko氏によりウクライナ・ロシア両国関係の歴史や価値観の違い、ロシアの介入の度にウクライナが抵抗してきた歴史が説き起こされ、侵略や戦争犯罪の背景や意図について理解が深まりました。その後のQ&Aでは、キーウ周辺の市民生活やウクライナ人の士気の原動力、さらに両国の関係の歴史にも話が及びました。その中でも、独立以降のウクライナにおける教育内容の変化や、ウクライナのNATO加盟問題等のロシアのナラティヴが侵略の根底にある問題の本質と乖離していること、戦争犯罪の訴追・処罰が果たす役割についての現地の感触を伺いました。同氏の考え方を解説する言葉に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

最後に「皆さんのが学ぶ国際法の知識は、今後、世界をルールに基づく社会へと立て直すために必ず求められます。大いに学んでください」と語りかけられ、先の見えない戦争下にありながら戦後を見据え、共に明日を創ろうと呼びかける同氏の姿勢は参加者に深い印象を残しました。

春に入学したばかりの1年生が中心でしたが、ウクライナ

情勢を理解するために必要な背景知識を直接英語で得ることを目指しました。ドキュメンタリーの視聴等で知識を補足しながら、上級生の協力も得て、「誰の観点からの主張であるのか」を的確に判断しながら情報に接することを心掛けました。今回の対話を通じて、問題の背景にある文脈を読み解き、当事者の人々の立場を考慮した問い合わせをすることで、様々な状況に置かれた人々と信頼関係を結ぶ入り口に立てる学びました。

同プログラムを主催する高柴優貴子・法学部国際関係法学科教授は、こうした信頼関係の基礎となる資質にintegrityがあると説きます。Integrity(誠実さ、高潔さ)は「大きな困難に直面した際にもぶれない一貫した価値観や姿勢」を指す言葉です。国際社会では信頼に値する人物や組織を表す言葉として広く使われてきましたが、近年、日本でもその重要性から次第に浸透しつつあります。世界を舞台に異なる背景を持つ仲間とともに力を尽くすうえでは、何よりもこのintegrityが必須です。国際司法裁判所など世界の最前線で活躍してきた高柴教授は、全国でも数少ない国際関係法学科を擁する本学で専門性と英語力を磨きつつ、integrityを身に付けることで、国際社会につながるキャリアも十分視野に入るとし、興味のある人はぜひ、門を叩いてほしいと語ります。



ウクライナ情勢について解説するOleksandr Karpenko氏(写真:上段右端)

参加した学生に感想を聞きました!



もりやま わかな
森山 和奏さん
法学部国際関係法学科1年
(西南学院高等学校出身)

プログラムに参加して、世界の問題を立体的に捉える感覚を経験するとともに、ウクライナでの出来事を理解し心に留め、現地の人たちの心に寄り添うことだけでもウクライナの人たちの力になれると思いました。今後は、世界をもっと広く知るために、単に英語を理解するだけではなく、英語を使って世界で起きていく問題を真に理解できる人になりたいです。



しおざき はる
篠崎 溫さん
法学部国際関係法学科1年
(小郡高等学校出身)

新しい物事を理解するためには、自分の偏見にとらわれずに取捨選択した情報と、多くの事実を関連付けて立体的に理解することが大切だと感じました。また、情報を得る際は、誰の視点で書かれているのかを考えながら理解することも重要であると感じました。「学ぶことにベストを尽くしてください。変わり続ける世界の中で知識は必ず必要とされます」というKarpenko氏からの言葉を胸に、今後も国際法の学びを深めていきたいです。

INFORMATION

INFORMATION

NEWS

NEWS

本学教授の新著

西南学院大学
第73回大学祭について商学部キャリア教育
「NHK大学セミナー」を開催しました芥川賞受賞作家の
村田沙耶香さんが講演政治のいまを
考えてみませんか貧困問題と歴史に
興味がある人に『政治責任
民主主義とのつき合い方』う かい たけ ふみ
鶴飼 健史 /著法学部国際関係法学科
● 2022年2月18日 岩波新書
本体990円(税込) 266頁

無責任が蔓延する現代政治に、私たちはどのように立ち向かうべきなのか。本書では政治責任とは何かを考えながら、民主主義のあるべき姿を模索する。アーレントや丸山眞男などの古典的な政治思想や、自己責任やアカウンタビリティなどの最新の議論を幅広く盛り込み、政治学の知見を網羅する。さらに喫緊のテーマである、戦争や死に関する政治責任のあり方も検討しております。また不透明感を増す現代政治のひとつの道標となる。

『グローバル開発史
~もう一つの冷戦~』サラ・ロレンツィーニ /著
み す たく や
三須 拓也 /訳山本 健 /訳 法学部国際関係法学科
● 2022年6月15日 名古屋大学出版会
本体3,740円(税込) 384頁

20世紀は開発の時代だった。その歴史をグローバルな視点で描いたのが本書である。開発は、冷戦によって広まり、冷戦戦略の一部として発展した。また米ソのみならず、欧州や中国、そして様々な国際組織も多様な開発思想に基づき近代化と貧困問題に取り組んだ。それは、さらに環境や人権といった問題とも交錯していくことになる。様々な思惑と利益が絡み合って展開した開発のグローバル・ヒストリー。その新境地がここに開かれた。

統一テーマ 煌めく～瞬間を思い出に～

本年度は3年ぶりに対面での大学祭を実施予定です!模擬店など、対面ならではの企画も盛り沢山なのでぜひご来場ください!最新の情報については、大学祭HPをご確認ください!



お問い合わせ先

西南学院大学第73回大学祭実行委員会公式SNS



※新型コロナウイルス感染拡大状況により、オンライン開催又は中止になる場合があります。

6月20日(月)、本学チャペルにて「NHK大学セミナーin西南学院大学」を開催しました。同セミナーは、NHKが大学教育に貢献することを目的に、番組出演者や制作者を講師として大学に派遣し、NHKの専門性を活かしたセミナーを全国の大学で実施しているものです。講師にNHK・Eテレの番組「アクティブ10 ミライのしごとーく」チーフ・プロデューサー成松弘明氏をお招きし、「仕事の『ミライ』そして自分の『ミライ』を考える!」と題して、商学部1年生向けのキャリア教育の一環として実施いたしました。

講義では、ゲーム・コンビニ・ベンチャー企業・化粧品・公務員業界など様々な仕事やその未来について、当時の番組制作を振り返りつつ、同じ業界で働く“異なる職種”的3人を取り上げ、実際に取材したからこそ分かる、その方々の「仕事・働き方・言葉」について紹介されました。学生からは、「経験がつながって仕事になる」という言葉には深く頷くことができた。これを意識して大学生活を過ごしたいなどの感想が寄せられ、学生のキャリア意識の向上につながるセミナーとなりました。



7月15日(金)、芥川賞受賞作家の村田沙耶香さんを講師に迎え、「作者を超えていく物語」というテーマで読書教養講座を開催しました。

村田沙耶香さんは、「常識」や「普通」にこだわらず、既存の価値観を揺さぶる作風で、若い世代、そして、海外にもファンが多く、2003年に「授乳」で群像新人文学賞優秀賞受賞。2016年に「コンビニ人間」で芥川賞を受賞し、その他、「生命式」「消滅世界」など話題作を多数出版し、活躍されています。

村田さんは講演の中で、「小説を書く時は、何となく水槽をイメージして書いています。まず、主人公の似顔絵を描き上げ、その後、様々なバックグラウンドを持つ人々を水槽に入れる。その水槽の中で起きた科学変化をもとに、出来上がった物語ができるだけ誠実に書き上げている」と村田さん独自の感覚から小説を書く上で意識していることを語りました。また、講演後には、学生とのトークセッションが行われ、村田さんの世界観に参加者は熱心に聴き入っていました。



計報

INFORMATION

NEWS

NEWS

「AIチャットボット」
を導入「第61回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会」
ラテンの部で別當・平井ペアが優勝!

7月10日(日)に東和薬品RACTABドーム(大阪府)で行われた「第61回全日本学生選抜競技ダンス選手権大会」ラテンの部で、西南学院大学競技ダンス部の別當純也さん(経済学部国際経済学科4年)・平井翠祐さん(文学部英文学科4年)ペアが見事優勝(全国1位)を果たしました。

大会優勝を振り返り、別當さんは「練習をする中でぶつかることもありましたが、ペアとして同じ目標を持っていましたからこそ、結果を残すことができました。ずっと全国大会での優勝を目指していたので、やっと目標を達成できて嬉しいです」と語り、平井さんは「大会当日は他選手の成績や順位を気にする間もなく、優勝することだけを考えていました。コロナ禍で練習ができない時期が続き、目標を諦めかけたこともありましたが、今はあきらめなくて本当に良かったと思っています」と熱く語ってくれました。



“学生必見”資格サポートコーナーを活用ください!

本学では、あらゆる学びのニーズに対応するために、資格取得支援講座を開講しています。本年度よりサポート体制の充実化を目指し、資格サポートコーナーを開室しました。

資格について、どんなことでも相談OKです!お気軽にお越しください!

社会連携課 資格サポートコーナー

東キャンパス西南コミュニティーセンター1階 社会連携課事務室内

月・火・水・金 10:00～15:00

TEL:092-823-3374

E-mail:shikaku@seinan.acarevo.jp

資格取得支援
担当:属(つか)

名誉教授・元文学部教授
やまなか こうさく
中山 耕作 氏

本学名誉教授の中山耕作氏が、2022年5月7日(土)にご逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げます。



名誉教授・元国際文化学部教授
おう こうれん
王 孝廉 氏

本学名誉教授の王孝廉氏が、2022年8月17日(水)にご逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げます。

INFORMATION

● 事業活動収支計算書[学院全体](2021年4月1日から2022年3月31日まで)

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	9,879	9,812	68
	手数料	445	463	△ 18
	寄付金	49	62	△ 13
	経常費等補助金	1,901	1,787	113
	付随事業収入	239	232	7
	雑収入	328	398	△ 70
	教育活動収入計	12,842	12,755	87
	人件費	7,578	7,426	152
	教育研究経費	4,109	3,558	551
	(内、減価償却額)	1,145	1,143	1
教育活動支出	管理経費	827	686	142
	(内、減価償却額)	155	153	2
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	12,515	11,669	846
	教育活動収支差額	327	1,086	△ 759
	受取利息・配当金	158	166	△ 8
	その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収支	教育活動外収入計	158	166	△ 8
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	158	166	△ 8
経常収支差額		485	1,252	△ 767
特別収支	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	3	31	△ 28
	特別収入計	3	31	△ 28
	資産処分差額	14	15	△ 1
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	14	15	△ 1
	特別収支差額	△ 11	16	△ 27
予備費		399	0	399
基本金組入前当年度収支差額		75	1,267	△ 1,193
基本金組入額合計		△ 582	△ 577	△ 5
当年度収支差額		△ 507	691	△ 1,198
前年度繰越収支差額		△ 2,615	△ 2,615	0
基本金取崩額		41	75	△ 34
翌年度繰越収支差額		△ 3,081	△ 1,850	△ 1,231
(参考)				
事業活動収入計		13,003	12,952	51
事業活動支出計		12,928	11,685	1,243

※表中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

財務状況は、学院ホームページ(https://www.seinan-gakuin.jp/info/public_financial.html)で公開しておりますので、
詳細については、そちらをご覧ください。

< 西南学院の財政について (2021年度決算[学院全体]) >

本学院をはじめ私学振興助成法により補助金の交付を受ける学校法人は、学校法人会計基準の定めに従い会計処理を行い、計算書類を作成する必要があります。ここでは、事業活動収支計算書と貸借対照表についてその概要をご報告いたします。詳細については、学院ホームページをご覧ください。

事業活動収支計算書は、当該年度の「教育活動」「教育活動以外の経常的な活動」「その他の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

教育活動収入においては、2020年度から開始された高等教育の修学支援制度では、経常費等補助金に4.6億円を受け入れて授業料減免を行いました。教育活動支出では、新型コロナウイルス感染症対策が続いていることにより予算残が発生し、教育活動支出は、予算比で8.4億円少くなりました。人件費は74.2億円であり、経常収入に対する割合は57.5%と、全国平均(同系統法人平均)52.7%より大きな割合を占めています。教育研究経費は前年度より1.5億円減少し、経常収入に対する割合は27.5%で、全国平均(同系統法人平均)33.6%より小さい割合となっています。

事業活動収入は、前年度より0.2億円増加しましたが、予算比では0.5億円少なくなっています。事業活動支出は、前年度より1.2億円減少し、予算比で12.4億円少なくなっています。この結果、基本金組入前当年度収支差額は予算より11.9億円改善され、12.6億円となりました。事業活動収入に対する基本金組入前当年度収支差額の比率を示す事業活動収支差額比率は9.8%です。

基本金については、第1号基本金では、大学院棟空調設備更新工事、

図書館システムの更新、中学校・高等学校体育館剣道場空調設備工事、野球部雨天練習場整備、小学校教育システムサーバー、幼稚園防犯カメラ、保育所園庭改修工事に伴う施設設備の取得と、備品総合償却、東京オフィスの閉鎖や新体育馆建築のための施設設備の除却、中学校・高等学校システムの除却等を部門別に相殺し、基本金の組入れ0.2億円と取崩し0.7億円を計上しています。新体育馆建築のための資金は、第2号基本金から振替を行いました。第2号基本金の組入れは、西南会館、学術研究所、新講義棟建築のための3.5億円、第3号基本金の基本金組入れは、大学奨学金、中学校・高等学校奨学基金等の2.0億円です。

基本金組入後の当年度収支差額は、予算より11.9億円好転して6.9億円の収入超過となりました。当年度収支差額に前年度繰越収支差額、基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は18.5億円の支出超過となっています。

貸借対照表は、年度末における学校法人の財政状態を示しています。当年度末の資産の部合計は738.9億円で前年度より13.3億円増加、負債の部合計は61.4億円で前年度より0.6億円増加しました。その結果、純資産の部は前年度より12.6億円増加して677.5億円となりました。資産の部合計の内訳は、固定資産では、有形固定資産が414.0億円、各種引当資産である特定資産が132.7億円、有価証券等を含むその他の固定資産が109.0億円です。流動資産では、現金預金79.8億円を含めて83.1億円となっています。なお、2009年度末以降、借入金はありません。

常任理事(財務担当) 大羽 康二

● 貸借対照表[学院全体](2022年3月31日)

(単位:百万円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
資産	固定資産	65,588	62,981
	有形固定資産	41,403	41,124
	特定資産	13,277	12,739
	その他の固定資産	10,908	9,118
	流動資産	8,311	9,581
資産合計		73,899	72,562
負債	固定負債	3,222	3,264
	流動負債	2,922	2,810
	負債合計	6,144	6,075
純資産	基本金	69,605	69,103
	繰越収支差額	△ 1,850	△ 2,615
	純資産合計	67,755	66,488

(参考)

減価償却額の累計額	18,517	17,719	798
基本金未組入額	266	380	△ 114

300万円を超えるリース資産のリース残高。

※表中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。